

# TOWISE Version.2.0.5.0 アップデート概要

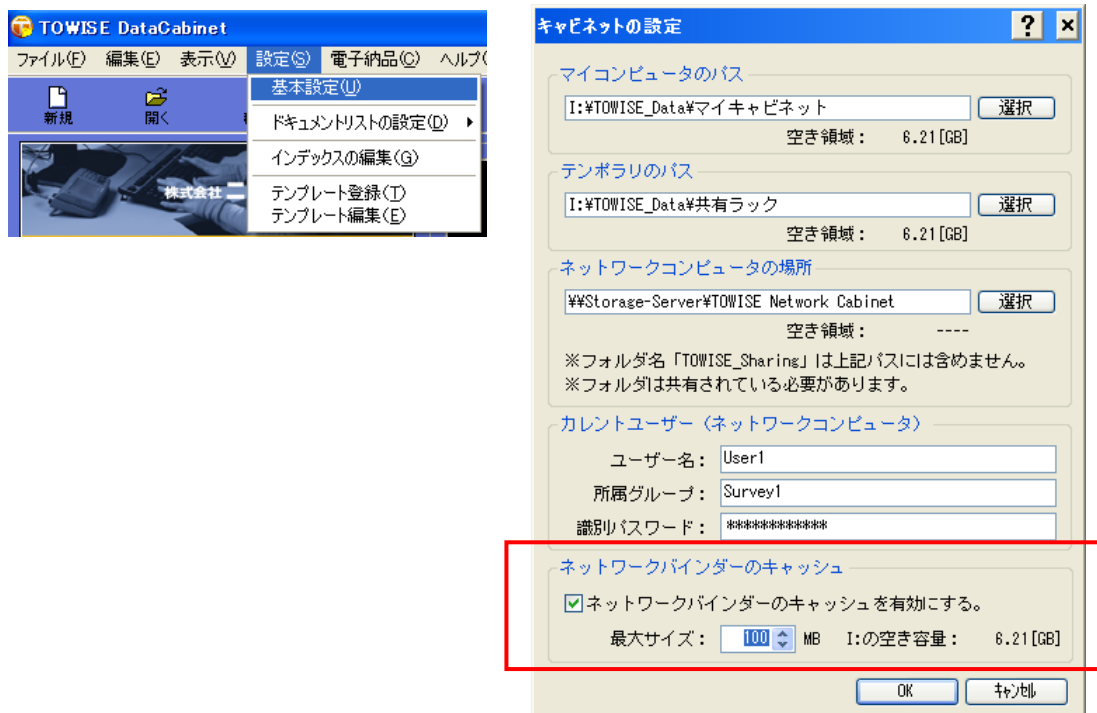
2008年1月  
株式会社 ニコン・トリプル

本書では、TOWISE Version 2.0.5.0 で追加・改善された機能の概要を説明します。

## ■ キャビネット機能強化のご紹介 ～ ネットワーク機能改善

### ● ネットワークバインダの高速化

ネットワークキャビネットのバインダを繰り返し利用する場合の、作業開始と終了速度を高速化しました。一度作業したネットワークバインダの情報は、システム内部に記憶する仕組み（キャッシュ機能）により、次回の作業開始処理を効率良く行えるよう改善しています。キャッシュ機能の設定は、メニュー[編集]-「基本設定」で、ご利用環境に合わせて調節することができます。



### 【キャッシュ機能】

キャッシュ機能は、一度作業したネットワークバインダをローカルディスク上に一時的に記憶し、次回作業開始時にネットワーク経由のデータ取得を軽減し、処理速度を向上させる機能です。キャッシュされるデータ量（バインダ数）は、設定サイズの範囲内で使用頻度を考慮して自動的に調節されます。キャッシュ機能による動作の違いは、次のようになります。

	処理速度	使用ディスク領域
キャッシュ ON	一度作業したネットワークバインダを次回から高速に開くことができます。	一時的なデータの記憶領域として設定されたキャッシュサイズの範囲内でディスク領域を使用します。
キャッシュ OFF	ネットワークバインダを開く速度は一定です。	作業終了後は、一時的なデータの記憶領域を使用しない為、ディスク領域を節約することができます。

### 【キャッシュサイズ】

キャッシュ機能では、「テンポラリのパス」に設定されたディスク領域を利用します。キャッシュデータは一時的なデータですので、キャッシュサイズには現在のディスク空き領域の 25%程度までを目安に設定することをお勧めします。

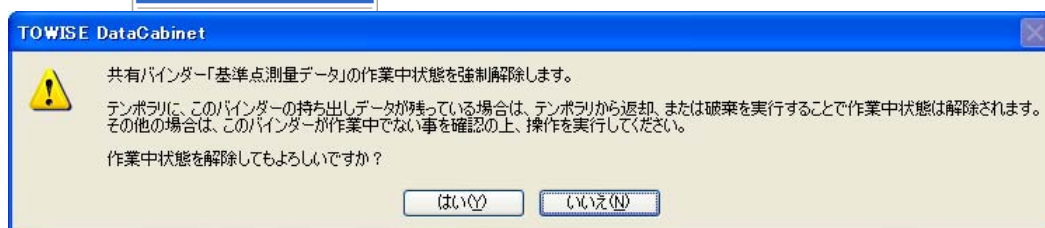
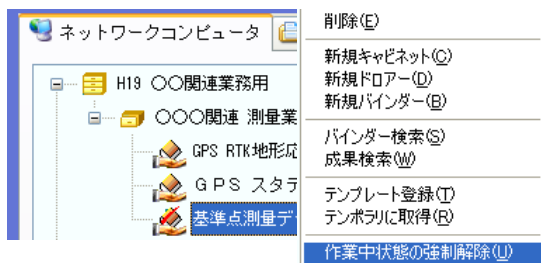
※キャッシュ ON の場合は、設定サイズに関わらず最低1バインダはキャッシュされます。

## ● ネットワークバインダの強制ロック解除機能の追加

ネットワークバインダのロック状態を強制的に解除する機能を追加しました。  
また、不要になったテンポラリ領域のバインダを破棄する機能も追加しました。

### 【作業中状態の強制解除】

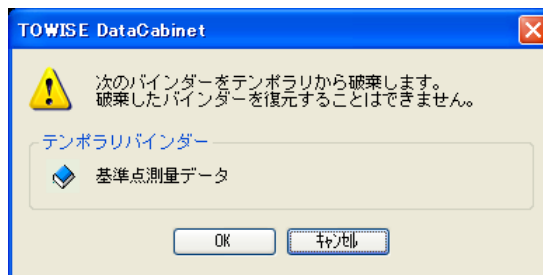
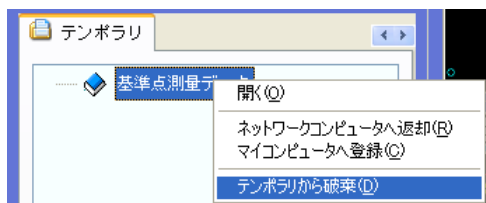
作業中状態を強制的に解除するバインダを選択し、ポップアップから「強制解除」を実行します。



※強制解除は、処理中のエラー等で、万一ロック情報が残ってしまった場合に利用する為の機能です。  
ネットワーク内での他の PC の作業状況をご確認の上、ご利用ください。

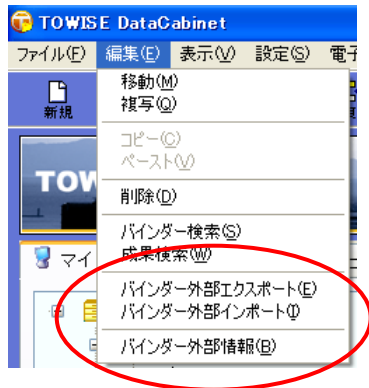
### 【テンポラリからの破棄】

不要になった、テンポラリに持ち出し状態のバインダを選択し、ポップアップから「テンポラリの破棄」を実行します。  
テンポラリの破棄を実行すると、テンポラリ領域からデータを破棄するとともに、取得元の共有バインダの作業中状態も解除します。

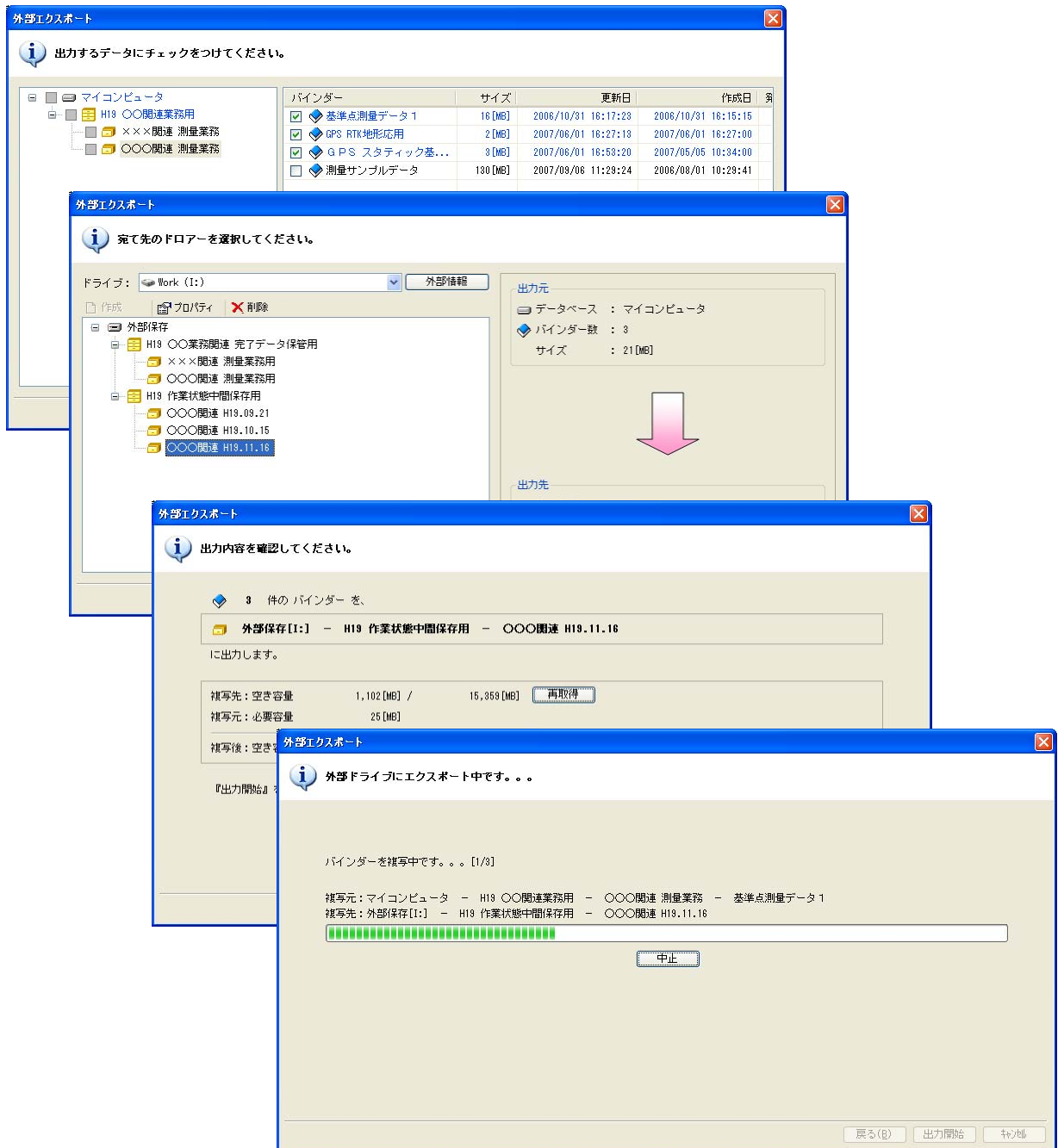


## ● 外部交換インターフェースの改良

キャビネットデータの外部へのエクスポート、及び外部からのインポートのインターフェースをウィザード形式に変更しました。  
 バインダ単位・ドロアー単位・キャビネット単位で複数指示ができるようになっています。



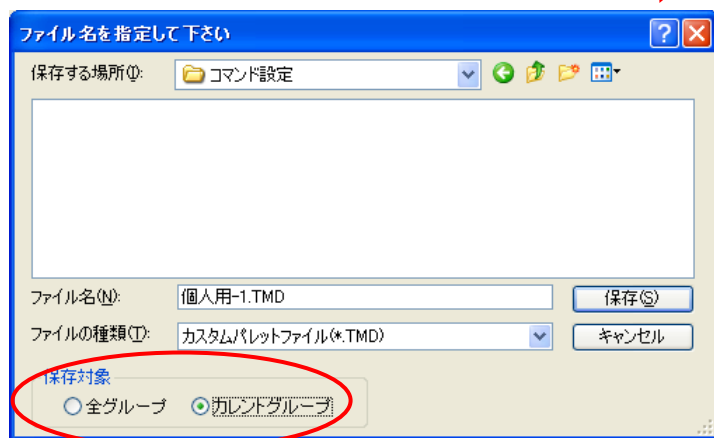
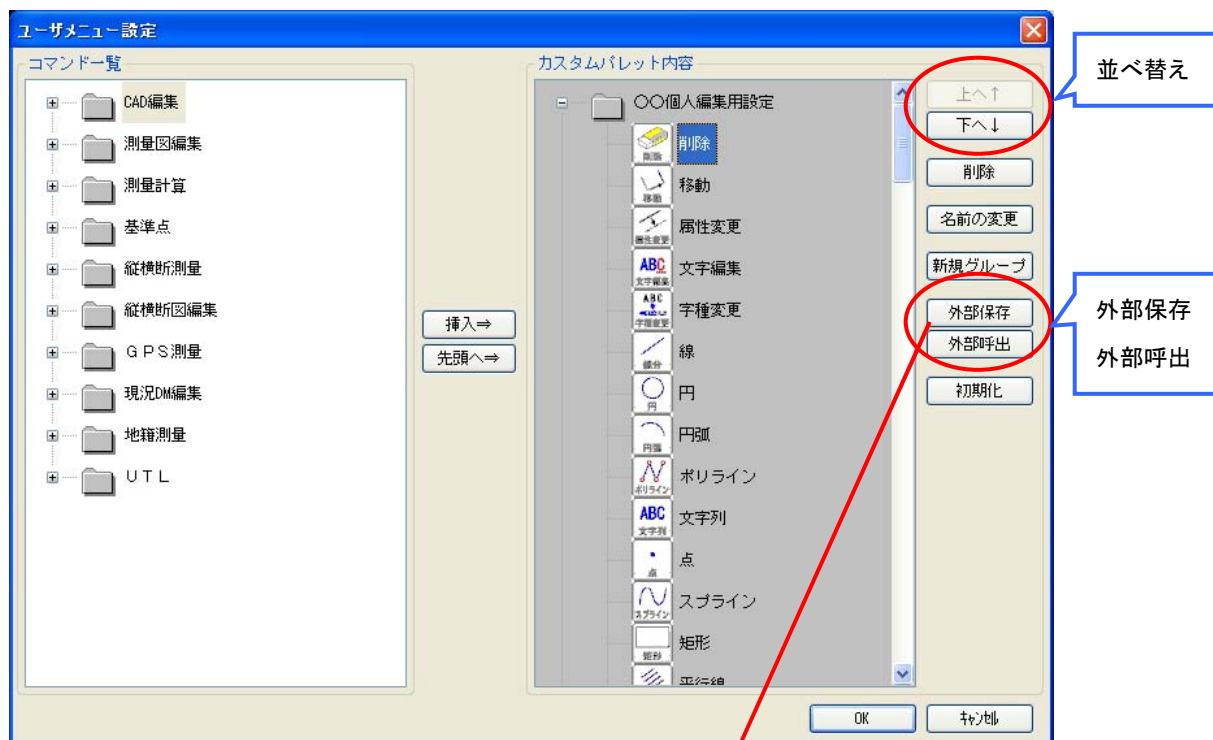
### 【外部エクスポートの例】



## ■ システム機能改善のご紹介

### ● 作業パレットコマンドメニュー設定の改良

1. コマンド複数登録  
一つのコマンドを複数のグループに追加できるようになりました。
2. コマンド、グループの並べ替え  
登録済みのコマンド、及びグループを選択し、上下ボタンで並べ替えできるようになりました。
3. メニュー設定の外部保存・外部呼出し  
カスタマイズしたコマンドメニュー設定をシステム外部に保存し、別の PC に呼出すことができるようになりました。



※外部保存時は、保存対象を全グループ(全体)、カレントグループ(選択しているグループ)から選択できます。

## ■ CAD コマンド機能改善のご紹介

### ● 禁則文字編集

禁則文字のチェック範囲をカテゴリー別に選択できるようになりました。

禁則文字チェック

禁則文字設定

全角英数  特殊文字

半角カナ  外字

編集開始(E)  スペース

No.	文字列	全角	半角	特殊	外字
1	NO	×	○	-	○
2	X	×	○	-	○
3	Y	×	○	-	○
4	NO	×	○	-	○
5	X	×	○	-	○
6	Y	×	○	-	○
7	NO	×	○	-	○
8	X	×	○	-	○
9	Y	×	○	-	○
10	NO	×	○	-	○
11	X	×	○	-	○
12	Y	×	○	-	○
13	NO	×	○	-	○
14	X	×	○	-	○
15	Y	×	○	-	○

置換対象要素数 : 15

チェック対象を選択します。

チェック対象に該当する文字列が抽出されます。  
O:OK x:NG -:対象外

## ■ ご注意

### ● データの互換性について

TOWISE Version.2.0.5.0 では、データキャビネットのデータ形式が拡張されています。

以前のバージョンでは正常にご利用頂けませんので、ネットワークでご利用頂いているお客様は、作業環境のすべての TOWISE バージョンを統一して頂きます様、お願い致します。

### ● データコンバート処理について

データ形式の変換は TOWISE Version.2.0.5.0 をインストール後、最初に TOWISE を起動した時点で、自動的に行われます。

以前のバージョンの TOWISE が動作中の場合は、コンバート処理が行えませんので、TOWISE Version.2.0.5.0 へのアップデート作業の際は、ネットワーク上の旧バージョンの TOWISE をすべて終了させた状態でインストールしてください。

以上